



NPO法人

あらゆる暴力に苦しんでいる女性と子どもたちを支援します

2021年1月発行Vol.21
法人登記2008年12月4日

新居浜ほっとねっと通信

ほっとねっとHP niihama-hotnet.com



みなさまへ

お元気でいらっしゃいますか。

日頃は、新居浜ほっとねっとへのご理解とご支援をいただきまして、ありがとうございます。おかげさまで、新居浜ほっとねっとは、設立から13年目を迎えることができました。感謝いたしております。

一人の人間が、生きていく中で、様々なことに会い、思いがけず事故にあたり、病気になったり、自分だけでは命をつなげることは難しかったかもしれません。

周りの人たちの何らかの手助けで、今、今日、ここにいるのかもしれません。

新居浜ほっとねっとも、目的を共有する人たちと、細々とでもつながって、続けていきます。

DVという言葉が世間に浸透していく中で、報道される内容は偏見があるように見えます。また、支援関係者の中にも、固定観念があって、二次被害を与えてしまっている例も見られます。交通安全のルールを幼児期から学ぶように、人と人との間で暮らす私たちには、相手の尊厳を尊重するためのルールを学ぶ必要があります。

DVを公衆衛生の視点と、ジェンダーの視点から見つめ続け、学び続け、関わり続けていきます。

今後ともよろしく願いいたします。

ドメスティック・バイオレンス

◎DVはとても身近な問題

- ・自分自身が経験するかもしれない
- ・お友達が経験するかもしれない
- ・家の中で起きているかもしれない



他人事だと思わないことが大切

資料提供: NPO法人レジリエンス

◎言葉について・・・ ジェンダーとは

『社会や文化が歴史的に作ってきた男らしさ・女らしさ』をジェンダーといいます。「男やからこうしろ」「女やからこうしろ」みたいに言う人、いませんか？そんなふうにジェンダーの思い込みがきつい人を「ジェンダーのバイアスがかかっている」といいます。「男やから」「女やから」ではなく「人間やから」「私やから」と考えるのは「ジェンダーフリー」といいます。ジェンダーのとらわれから自由になっているという意味です。

・ 公衆衛生

- ・ 共にその地域に住み、その社会を形作っている人々の保健・衛生に関する官民共同の総合的活動

・ バイアス

- ・ かたより (片寄り)
- ・ 織り目に対して斜めに切った布地



2020秋の講演会のお知らせ

性的マイノリティ(性的少数者)をご存知ですか?
「同性愛」「性同一性障害」って何だろう?

RAINBOW
PRIDE
EHIME



多様性を認め合う社会は多くの人にとって生きやすい社会です。
NPO レインボープライド愛媛 代表エディさんのプロフィール
松山で同性愛や性同一性障害などの性的マイノリティの人権啓発を行うNPO法人の代表。啓発のためのイベントや学習会、映画祭、全国大会の主催などを進じ理解を進めると共に当事者同士の交流支援施設「えひめLGBTセンター 虹力(にじから)スペース」を開設。地域に根ざした活動を積極的に行っている。愛媛県人権問題研修講師として講演活動も行っており、当事者の声を届けている。

LGBTって何!?

～同性愛・性別違和について～



LGBTって何!?!～同性愛・性別違和について～

講師は、NPOレインボープライド愛媛代表のエディさんをお迎えしました。参加者27名。

講演後も残って下さった方々とエディさんを囲み、教育現場での悩みや、対処法、人生観など、多様な会話が弾みました。

参加して下さった皆様の講演後のアンケートには、率直な意見が記されておりました。本当にありがとうございました。(愛媛県NPO法人活動助成事業として実施)

エディさんは、ご自身の言葉で、ご自身の経験を話して下さり、心に染み入る講演会となりました。自分が思い込んでいる性自認が本当にそうなのか、人間のこことからだのしくみの不思議さに、思い込みでなく正しい知識が必要だと再認識しました。

■LGBT

レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字。性的少数者全般を表す。性分化疾患や、Xジェンダーも包括的に含む考えもある。

■同性愛

自分自身が認識している性別と同じ性別の人を恋愛対象とすること。

■性別違和

自分自身の体の性に対し違和感を持つ状態。

■性自認

自分自身の性をどうとらえているかということ。自分を男と思うか女と思うかということ。

■性同一性障害

生物学的な性別と精神的な性別が一致しない状態で悩み苦しむこと。医学上の疾患名。



☆☆☆☆☆皆さんの感想☆☆☆☆☆

- どうしても聞かせていただきたいと思っていたエディさんのお話をうかがえて本当にありがたかったです。
- その人がその人らしく生きる、だれもが輝いて生きていける世の中でありたいし、そうしていかねばならないと思います。「当事者でなく、周りから声を」という言葉が心に残り、私自身も考えて行動していきたいと思いました。
- 当事者の話が聞けて、勉強になった。
- 自分の人権意識を確認できるよい機会になった。
- LGBTは重要な人権課題ですし、女性の権利にもつながる(ジェンダーバイアスのことなど)と思いました。これを機会にもっと自分も勉強していきたいです。
- 一人ひとりとはみな違って当たり前なのに、その「当たり前」が尊重されず、「普通」「一般的」でひとくくりにする事の不合理さを改めて強く感じました。
自分も他者から否定されたくありません。だから、「他者」のことも否定しない生き方をしたいと思います。
- その人らしく生きていければ幸せな人が増える。自分が輝くために周囲にも気配りができればよい。受け入れられないお母さんに責任があるわけではない。そういう学びを受けてこなかったから仕方がない。社会の認識がもう少しちがってれば・・・。
同性愛は病気ではない。
- 他人の事だったら理解はできるが、いざ自分の身内の事になると、難しい・・・。

平成31年度及び令和1年度の事業報告書 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	参加人数
相談を受け 自立に向け てサポート する事業	被害者からの電話相談及び面接相談 場所：ふれあいプラザ（総合福祉センター）相談室 毎週火曜日 13：00～17：00 電話相談：毎日 相談員5名 随時、同行・訪問・他	相談件数 395件
行政や関係 機関と対等 な協力関係 を図る事業	随時 市、警察、関係団体と連携して事業を行ってきた。 4/23 県 「配偶者からの暴力」研修 6/21 社協 生活困窮者自立支援事業支援調整会議 7/1 新居浜市保健センター 「自殺防止対策計画」説明会 8/24・25 内閣府 女性に対する暴力被害者支援のための官官・官民 連携促進ワークショップ事業 10/28 新居浜市補助事業公募審査会プレゼンテーション 11/14 県 配偶者暴力相談支援センター連携会議 1/30 県 DV防止対策連絡会東予地区担当者会	1名 2名 2名 5名 2名 1名 2名
学習会や研 修会に取り 組む事業	〔講演会・研修会の開催及び参加〕 <u>講演会開催</u> 2019秋の講演会 「SNSから見た子ども達の現状」 11月24日（日） ～性感染症・避妊・デートDV～ 講師：上村茂仁 ウイメンズクリニックかみむら 院長（医学博士） 岡山セクシャルプロダクティブヘルス研究会代表 <u>研修会開催</u> こころのケア講座 （12講座6回シリーズ） 講師：高橋雅子 <u>研修会参加</u> 10月25日 内閣府令和元年度若年層を対象とした女性に対する暴力の予 防啓発のための研修 2020年 NPO法人レジリエンス主催SAFFER 1月13日 解離に苦しむ当事者を支援するための養成講座 <u>勉強会参加</u> 10月26日 新居浜市DV防止啓発講演会 11月2日 新居浜市DV相談員養成講座 11月27日 松山ファミリー相談室開設記念講演会 「子ども中心の面会交流とは」	15名 トータル 61名 1名 3名 2名 1名 4名
広報活動 事業	ホームページを使った広報、啓発 7月19日 中村松木子ども食堂 会場にパネル展示 9月 「新居浜ほっとねっと通信」19号発行、配布 10月6日 いきいきフェスティバル パネル展示	1名 2名
理事会等	4月16日理事会 5月14日理事会 5月20日監査 6月15日通常総会 定例会 7/9 8/13 9/10 10/8 11/12 12/10 1/14 2/18 3月10日理事会	

令和2年度活動実績 (2020年8～11月)

- こころのケア講座 (12講座6回シリーズ) 講師：高橋雅子
8月8日・22日 9月12日・19日 10月10日・24日
- 解離に苦しむ当事者を支援するための研修 11月14日
- 2020秋の講演会「LGBTって何!？」～同性愛・性別違和について～
11月28日（土） 講師：エディ NPOレインボープライド愛媛 代表



2021年今後の活動について

コロナ対策の自粛ムードで、DV家庭のなかではよくない傾向に影響があったかもしれません。電話での相談は、家庭内にBさん(batterer)が在宅していたら、電話をかけることすらできないかもしれません。かけてもらっても、ゆっくりとお話を聴く余裕がなくなってしまう。ましてや面談に出かけることなど、難しくなります。そんな中でも、勇気を出して連絡してくれた☆(ほし)さんに、できる限り安全な方法でお会いし、お話を聴く、公的機関に同行する、☆(ほし)さんの意見を尊重する、違う方法を一緒に考える、あきらめないでと伝えるなど、私たちの聴く力が、☆(ほし)さんのレジリエンスを強くすると信じて、活動します。

- 被害者という言葉はその人の持っている力を感じにくくする。被害を耐え抜いているということは、それだけ力を持っている証拠。その力は自分を輝かせる力として使っていくこともできる。キラキラ輝ける人という意味で被害者ではなく☆(ほし)さんと呼ぶ。
- 加害者は暴力を振るう人という意味の英語のバタラー(batterer)のBをとってBさんと呼んでいる。
- レジリエンス

人は誰でも、どのような逆境に置かれてもそこから脱し、マイナスのものをプラスに変えていく力(レジリエンス)を持っています。

Resilience™
NPO法人レジリエンス

正会員・賛助会員にご加入のお願い

当法人の活動はみなさまの会費によって支えられております。

入会された会員のみなさまには、通信をお届けし、また当法人主催の講座などのお知らせをいたします。ぜひ会員となって活動を支援してくださいませようお願いいたします。

【年会費】 個人正会員 3,000円 個人賛助会員 1口 1,000円 団体賛助会員 1口 5,000円

郵便振替口座 口座番号01640-8-139986

加入社名NPO法人新居浜ほっとねっと

愛媛銀行 新居浜支店 普通預金 口座番号 5418933

伊予銀行 登道支店 普通預金 口座番号 1691474

口座名義はいずれも「NPO法人新居浜ほっとねっと」



ほっとねっとの
相談電話番号

080-1996-3609

AM8:00~PM20:00

ほっとねっとの相談室

■毎週火曜日/13:00~17:00

ふれあいプラザ・相談室(新居浜市総合福祉センター)

〒792-0031 新居浜市高木町2-60



お願い 虐待かな?と思ったら

赤ちゃんやちいさい子は自分で電話をかけられないよ。189 いちはやく手伝って